



編集・発行
若松地域センター
管理運営委員会
ふれあい情報誌

わが わかま かまち まつ



2020年
3/31発行

第17回
ニューイヤー
国際子ども音楽祭
1月18日(土)開催



余丁町小学校「和太鼓愛好会」



富久小学校「金管バンド」有志



牛込仲之小学校 2年生



東戸山小学校「HIGATO★ピースターズ」



東戸山小学校 若草学級



東京韓国学校初等部



余丁町小学校「音楽クラブ」

17回の歴史を重ねて、若松地域の小学生の恒例行事として定着し、本年の出場者は、124名、賑やかで楽しい集いとなりました。吉住健一新宿区長、各学校の校長先生はじめ保護者、地域の方々に見守られ、子どもたちは日頃の練習の成果を一生懸命披露し、場内は爽やかな感動に包まれました。東京韓国学校初等部の伝統音楽演奏では、韓国の文化に直接触れる貴重な体験が出来ました。この音楽祭の経験が子どもたちの未来の希望へと繋がることを願います。

『まちの先生見本市!』

令和2年1月25日(土)新宿区立富久小学校において、第19回新宿の環境応援団「まちの先生見本市!」が開催されました。新宿区には、環境学習や、エコ活動を応援する団体が数多くあります。今回は、約50団体で活躍しているまちの先生が、日頃の活動や、ワークショップを披露してくれました。

体育館では、オープニングが行われ、吉住健一新宿区長、崎田裕子実行委員長の挨拶に続き、「環境学習発表会」が始まりました。

有村 昆氏による「映画からわかる世界の環境について」の講演と、新宿区教育委員会主催である「学校で行われている環境学習の取り組み」を、新宿区立の各小学校の児童が発表しました。保護者、出展団体の参加者、来賓の方々が見守る中、イベントにふさわしい思いをひとつにしたスタートとなりました。

校舎の1階～4階まで数々のブースが並び、訪れた人たちは、各所を巡り楽しむ様子が見受けられました。

3階のオープンスペースでは、新宿区エコライフ推進協議会の3分科会が、第8期「エコライフ推進活動」の2年間の取り組みを紹介しました。

その中の「ごみの減量とリサイクル分科会」では、海を汚さないための消費者(区民)の役割について推進と啓発を行いました。

近年環境汚染を引き起こすプラスチックごみの削減が世界的な問題になっています。このまま放っておくと、20年後には海の生物よりプラスチックの量の方が多くなるということ、紫外線や波にさらされたプラスチックはマイクロプラスチック(5mm以下)となり、海洋生物が食べて育ちにくくなっていること、プラスチックが自然分解するまでに、数十年から数百年という長い年月がかかることなどを伝え、身近に迫る深刻な問題としてとらえてもらいました。



主催：NPO 法人新宿環境活動ネット / 新宿区

「わかまわかまつ」はふれあい情報誌です。若松地域の情報をお寄せください。
若松地域センター事務局
FAX (3209) 6031
連絡先を明記してください。
(7月、12月、3月・年3回発行)

- **総会日時**
若松地域センター管理運営委員会 第30回委員総会
5月21日(木) 17時30分～ 会場：若松地域センター第1集会室
 - **各団体の総会**
 - 若松地区町会連合会
6月19日(金)
会場：若松地域センター第1集会室
 - 若松地区青少年育成委員会
5月28日(木) 14時～
会場：若松地域センター第1集会室
 - 若松町地区民生委員・児童委員協議会
5月19日(火) 13時30分～
会場：若松地域センター第1集会室
 - 新宿区赤十字奉仕団若松町分団
4月9日(木) 16時15分～
会場：若松地域センター第1集会室
 - 若松地区協議会
6月30日(火) 17時30分～
会場：若松地域センター第2集会室 A
- ※コロナウイルス感染症拡大により変更の可能性あり

東日本大震災被災地に椿の防潮林を!

戸山シニア活動館も協力する「前浜椿の森プロジェクト」 宮城県気仙沼市本吉町前浜地区に椿の植樹

忘れてはいけない東日本大震災から(2011年3月11日(金)14時46分18秒発生)9年が経過しました。

現在、現地では、津波から守るために建てられた高いコンクリートの防潮堤は海岸の風景を一変させています。何のための防潮堤か? 地域の実情を鑑みた合意形成があったのか? 灰色の壁に囲まれた津波防災ではなく風光明媚な景観を残す防潮は出来ないのかと、2011年9月、気仙沼に市民主導の「海の照葉樹林プロジェクト」が立ち上がり、2012年7月より、早稲田大学ボランティアセンターの支援活動が開始されました。津波で被災した場所に椿など地元の植物を植えて防潮林を作る「前浜椿の森プロジェクト」に、戸山シニア活動館は、2014年10月より参加し、共感した全国の方々と連携してきました。

新宿区立戸山シニア活動館で育苗していたツバキ、シロダモ、タブの3種類を中心に十数種類の苗木1,650本を活動館の利用者、戸山ハイツの町地居住者、早稲田大学、目白大学の先生や学生などが協力し2016年11月11日~12日、宮城県気仙沼市本吉町前浜地区のビニールハウスに運搬しました。

2019年8月30日~9月1日機会を得、シニア活動館職員、地域住民3名と現地に出向き新たな植樹に参加、以前植樹した苗は大きく育ち見事な実を付けています。

また、気仙沼市では、建物の内部が無残な瓦礫の山と果てた水産高校跡地に気仙沼市「東日本大震災遺構・伝承館」を作りました。大津波とその後の大規模な火災死者1,152人(震災関連死を含む)、行方不明者214人に上る最大級の悲劇を、将来にわたり震災の記憶と教訓を伝え、警笛を鳴らし続ける「目に見える証」として残したのです。(伝承館パンフレットによる)

取材：河原田安啓



町会・自治会のみなさまのご協力に感謝申し上げます

『令和元年度台風第15号千葉県災害』『令和元年度台風第19号』に対する災害義援金総額が4,635,444円となりました。被災された方々に直接お届けできるよう、千葉県に1,635,444円を、宮城県、福島県、長野県、栃木県、茨城県の各自治体の災害対策本部に600,000円を送金いたしました。

新宿区町会連合会

第3回文化シリーズ メキシカン・ラテン音楽を聴く

2月2日14時穏やかな日和の中開催されました。

折しも、新型コロナウイルスの感染が騒がれ始めた時期であり、果たして来場者がどれだけ会場を埋めつくせるかとても心配でしたが、いざ開演となるや予想を超える盛況ぶり、熱気があふれていました。

いまむら瞭さんのギターを奏でながらのソロの歌のすてきな声に聴きいってしまいました。また、今回は、普段耳にする機会が少ないアルパというメキシコの楽器で今村夏海さんと、ピアノの小澤裕貴さんの演奏を堪能させていただきました。

それからもう一つ今回の貴重な体験は、アルピータ(アルパの小さくしたもの)の弾き方を演奏者に教えていただいたことです。それをもとに会場全員で「ふるさと」の大合唱となりました。

あっという間に時間が過ぎてアンコールで終わりました。



「第11回箱根山駅伝大会2020」 カンバッジデザインコンテスト表彰式

3月7日(土)



「第11回箱根山駅伝大会2020」延期の報告

大会会長 鈴木神成
これまで10年間続いてきた若松地区を代表とする本大会が開催できなかったことは、誠に残念でなりません。新型コロナウイルス感染症が収束次第開催いたしますので、楽しみにしてください。